

絶え間ない勉強が必要

子どものころ、ふすまに絵を描いたり、勝手にのこぎりを使ったり、勝手に怒られたり…。

県立大学の挑戦

「新任教員」紹介⑧

PR

「のびのびとした『図画工作』の原体験は物作りの力強さを生み出します」。情報シス

情報システム学部 情報システム学科



【プロフィール】

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士課程後期修了。大阪大大学院准教授などを歴任。担当科目は「デジタルコンテンツデザイン」。大阪市出身

かなや
金谷

いちろう
一郎 教授 (43)

テム学科ではコンピューターを使って、アプリやCGを創作するクリエイターらを育成する。

例えば、人が近寄りがたいピラミッドの頂上、古墳や原子炉の内部をデータに基づき再現したり、電子看板の在り方なども探る。

自らもクリエイターだ。色合いの完全複製に関する発明で文化庁メディア芸術祭審査委員会推進作品、絵本の世界を体験できる映像作品では神戸ビエンナーレ奨励賞を共同受賞した。「アート

とは何か。額縁の中や美術館で鑑賞するだけでなく、日常にあるもの。それを感じると豊かになるもの」。先端技術を使って、教育や観光、娯楽など身近な体験に還元していく作業でもある。

「情報技術の進展は早い。学生が社会に出て、以後5年間ずっと使える技術はないと思います」。コンピューターを使った物作りには「絶え間ない勉強が必要」と語る。

【随時掲載】

県立大学

県内生は入学科が優遇されます。

0956
(47)
5856